



世田谷区は区内および隣接に17の大学・学部があります。各大学の専門性や特色を活かし、区内の様々な課題に区や地域と協働して取り組んでいます。

今回は 駒澤大学 の紹介と地域と協力した取組みをご紹介します！

駒澤大学は「**仏教**」の教えと「**禅**」の精神を建学の理念、つまり教育・研究の基本とする大学です。仏教は、物事の本質の洞察に基づいて、あらゆるものを大切に扱う心を教えてくれます。仏教では、この洞察を「**智慧**」、この心を「**慈悲**」と言います。

駒澤大学は、さまざまな学問を深く広く探求することをおして、智慧を磨き慈悲の心を育みながら自己を陶冶し成長していく場です。

この智慧と慈悲による自己形成を目指す仏教のいとなみを、禅では「**修**」（修行）といい、その理想の姿を「**証**」（悟り）と言います。曹洞宗の開祖・道元禅師は、理想の「証」は彼方にあるのではなく、私たちの日々のいとなみである「修」の中にこそ活かしている、と説かれ、それを「**修証一等**」（修行と悟りは一体である）という言葉で示されました。

この禅師の教えを大学の教育・研究の理想的なあり方として簡潔に表現したのが「**行学一如**」です。それは、大学では自己形成を目指す「**行**」と、学問研究である「**学**」とは一体であるという意味であり、それが建学の理念を表わす言葉として用いられてきたのです。

駒澤大学における「**行**」とは、仏教の高い倫理観のもと、学問研究を自らの血とし肉とする作業であり、それがそのまま本当の「**学**」ということなのです。こうして形成されていく自己は、卒業後も実社会のなかでより広い慈悲の心とより高い智慧を求め、常に新たな学びをつづけてゆくはずです。この絶えざる自己形成こそが、駒澤大学が掲げる理想の学びなのです。



社会連携・地域貢献の取組み

駒澤大学では、大学と社会が協働して課題を発見・共有し、新たな価値を生み出す活動を展開し、研究成果の社会への還元と、地域社会における教育活動及び教育環境の向上に取り組んでいます。

「目指せデータサイエンティスト！ ～地球温暖化の姿を知ろう～」を開催しました

8月31日（水）に、世田谷区立教育総合センターにおいて、同センターが実施している「STEAM教育講座」として、世田谷区内の小学5.6年生を対象としたワークショップ「目指せデータサイエンティスト～地球温暖化の姿を知ろう～」を本学総合教育研究部自然科学部門の 坂野井 和代 教授が講師となって、開催しました。

この取り組みは、本学が参画している「世田谷プラットフォーム」が、地域活性化を目的に世田谷区及び産業界と共同で企画の上実施する事業です。駒澤大学を含む区内6大学がそれぞれもつリソースを活かし講座を展開しています。当日の講座運営は世田谷区教育委員会、株式会社そごう・西武のほか、世田谷プラットフォーム加盟大学により執り行われました。



法学部の内海麻利ゼミと グローバル・メディア・スタディーズ学部の服部哲ゼミが 「令和4年度世田谷地域 地域交流ラボ」の中間報告を行いました

11月18日（日）、法学部の 内海 麻利 ゼミとグローバル・メディア・スタディーズ学部の 服部 哲 ゼミが、世田谷区上馬まちづくりセンターにて開催された「世田谷地域 地域交流ラボ」の中間報告会でこれまでの活動について発表を行いました。今年度の5月に地域の防災をテーマとして発足した「世田谷地域 地域交流ラボ」では、大学生が地域の中で防災をテーマとした調査・研究を行い、地域住民の方を交え、学部を超えたゼミ活動が展開されています。内海ゼミ・服部ゼミの学生が中間報告を行い、地域住民の方、世田谷区職員、ゼミ担当教員を交えて質疑応答が交わされました。



仏教学部の教員が公益財団法人 世田谷区保健センター主催 「坐禅体験講座」に協力

仏教学部の 大澤 邦由 准教授と 館 隆志 講師が、10月6日（木）・10月8日（土）に公益財団法人世田谷区保健センターで開催された「坐禅体験講座」に講師として参加し、坐禅指導を行いました。



清掃活動「上馬クリーンキャンペーン」に参加しました

6月7日（火）に行われた「上馬クリーンキャンペーン」に学生有志と職員が参加しました。参加者は早朝8時に集合し、世田谷区の上馬地区の清掃活動を実施しました。周辺地域の街の美化活動に取り組むとともに、普段はあまりコミュニケーションをとることが少ない地域の方々とも交流するなど貴重な機会となりました。



2023(令和5)年度 前期 公開講座 開講

2023年4月より、令和5年度前期公開講座を開講します。今回は「オンデマンド配信形式」と、駒澤大学深沢キャンパスアカデミーホールにて行う「対面形式」で開講します。禅、仏教に関する講座のほか、歴史、社会科学についてなど多彩な講座を開講します。

[詳細はこちら](#)



「駒大生社会連携プロジェクト」

駒澤大学では、2022（令和4）年度より、本学における社会連携・地域貢献にかかわる、教職員と学生の活動への支援を目的とした学内公募型の助成制度「駒大生社会連携プロジェクト」がスタートしました。令和4年度は、世田谷部門、産官学連携部門、SDGs部門の3つのテーマを設けており、今回は、合計7件の申請がありました。

外部審査員による評価、および社会連携委員会等で審議した結果、今年度は7件すべてを採択プロジェクトとすることとなりました。

2023年2月18日（土）には、各プロジェクトによる「活動報告会」がオンラインで開催され、その成果が報告されました。



詳細はこちら



令和4年度「駒大生社会連携プロジェクト」採択プロジェクト

●世田谷区部門：3件

- 【動画制作を通じた「せたがやの居場所」発信プロジェクト】
- 【PBL型授業のモデル構築 - 世田谷発の起業家教育 -】
- 【地域プロジェクトによる市民育ち - 用賀と深沢における参加型調査研究 -】

●産官学連携部門：3件

- 【産学連携による新商品開発と新たな販路開拓の実践プロジェクト - 地場産業の新商品開発と中小企業の海外販路開拓の事例 -】
- 【社会連携ゼミ交流会】
- 【難民を知り、共生へ - クルド人に学ぶ -】

●SDGs部門：1件

- 【新入生セミナー×現代応用経済学科ラボラトリ コラボ企画「現応ラボ 社会連携・SDGs活動セミナー、社会連携・SDGs交流会」】

駒澤大学図書館（新図書館）が開館しました

10月17日（月）、駒澤大学図書館（新図書館）が開館を迎えました。

開放感あふれる大きな窓とレンガ調タイルが特徴的な駒澤大学図書館は、地上6階・地下3階の構造を持ち、中央には「智の蔵」と称するスペースを設け、「智を蓄える・智をつかう・智をつなげる」をコンセプトとしています。



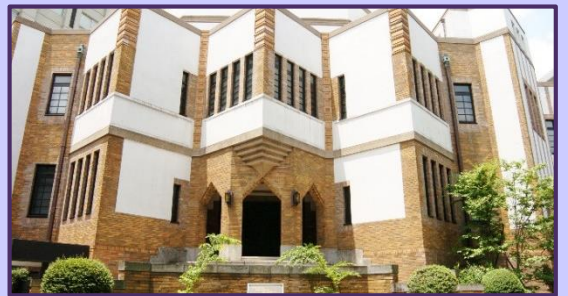
禅文化歴史博物館

禅文化歴史博物館は「仏教の教えと禅の精神」を建学の理念とする本学の特色を活かした禅の歴史と文化を中心とした博物館です。

1階常設展示室では、禅僧による禅画や墨蹟、仏教に関わる様々な資料が並び、体験コーナーも設置しています。2階大学史展示室、企画展示室では、ご来館の時期により様々な展示を開催しています。

当館の建物は **東京都選定歴史的建造物「耕雲館」** を保存・活用しています。特徴的な外観と天井部のステンドグラスに象徴される大正時代設計の図書館建築をご堪能いただけます。

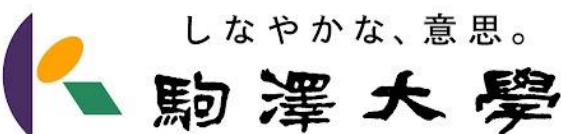
現在、事前予約なし（入退構時に守衛所への申出必須）でご見学いただけます。また、WEBを活用した展示や動画コンテンツの公開を行っておりますので是非ご覧ください。



禅文化歴史博物館HP



禅博チャンネル-YouTube-



駒沢キャンパス

〒154-8525 東京都世田谷区駒沢1-23-1
東急田園都市線「駒沢大学」駅
「駒沢公園口」出口から徒歩約10分
駒澤大学HP <https://www.komazawa-u.ac.jp/>

仏教学部
文学部

禅学科、仏教学科
国文学科、英米文学科、地理学科（地域文化研究・地域環境研究）
歴史学科（日本史学・外国史学・考古学）
社会学科（社会学・社会福祉学）、心理学科

経済学部
法学部

経済学科、商学科、現代応用経済学科
法律学科（フレックスA・B）、政治学科

経営学部

経営学科、市場戦略学科

医療健康科学部
グローバル・メディア・
ステージズ学部

グローバル・メディア学科

大学院

仏教学研究科、人文科学研究科、経済学研究科、商学研究科、法学研究科
経営学研究科、医療健康科学研究科、グローバル・メディア研究科
法曹養成研究科（法科大学院）